

希望坂(北中だより)

第11号 令和元年10月29日

みやき町立北茂安中学校 校長 森田 直樹

学校教育目標

「知性・感性・耐性」を
自らたかめる生徒の育成

〒849-0113 みやき町大字東尾 4435

TEL:0942-89-2008 Fax:89-2079



◆◇文化発表会大成功◇◆

10月25日(金)は、本校の文化発表会でした。「令和の幕開け～鮮やかに花咲く KITA 中物語」のテーマのもと、10月15日から少しずつ準備をしてきました。開会式の後には、ポップなリズムの吹奏楽部の演奏です。3年生のぬけた新生吹奏楽部でしたが、一体感のある演奏を響かせてくれました。

1年生の学年劇「KITA 中旋風～令和から始まる僕たちの物語～」は、郷土の史話「西尾の六地藏」をモチーフにしていました。昔がよかったわけではなく、昔は昔で大変だったこと。今をどう生きるか、自分で考えてたくましく生きることの大切さ。劇中での六地藏の語ることは中学生の心にも届いたと思います。1年生ながら、堂々とした演技に感心しました。

英語暗唱では、地区の英語暗唱大会に出場した生徒が演技を披露しました。1年生も流れるような英語を話していました。頑張ればできるものだと感じました。3年生の富安さんは地区代表として来月の県大会に出場します。

2年生の学年劇「人間観察記～北中奇妙な物語～」は、生徒による脚本・演出というチャレンジングな作品でした。中学生活の中で起きうる人間同士のトラブルを垣間見る手法で、人間って失敗する生き物だな。でもそれを何とかしようとする愛おしいものだなと感じさせてくれました。劇中に巧みにコミカルなシーンを挿入し、観客をひきつける魅力ある作品でした。

3年生の学年劇「マイ・ライフ」は、3年生としてどう進路を選択していくか悩む主人公に、感情移入できる作品でした。架空のライフ・ナビゲーターに5つの人間型から選ぶように迫られ、「他人が私の人生を決めるなんておかしい。」と叫ぶところは共感を呼んだのではないのでしょうか。生徒の個性を生かしたキャスティングと伸び伸びとした演技に感動しました。

午後の合唱コンクールでは、1年生の元気な歌声、2年生のハーモニー、そして3年生の迫力と一体感のある歌唱が心に残りました。3年生が範を示す合唱の伝統は、北茂安中の文化として受け継がれていることが証明されました。各賞は以下の通りです。

<1年>	金賞	1年2組	指揮者賞	1組	森 心 さん	伴奏者賞	2組	護山心海さん
<2年>	金賞	2年1組	指揮者賞	1組	江島悠真さん	伴奏者賞	2組	中村好芭さん
<3年>	金賞	3年3組	指揮者賞	2組	古賀大士さん	伴奏者賞	3組	角田菜緒さん
	学校賞	3年3組						

平日にもかかわらず、115名の保護者の皆様10数名の地域の皆様、そして近隣の高校の先生も参観に来られていました。生徒たちへの惜しみない拍手をありがとうございました。今回の文化発表会に関わって、生徒の中での葛藤や失敗があったかもしれませんが、それを乗り越えてこそその成功と達成感があるものだと、生徒自身が感じているものと思います。今後とも、地域や保護者の皆様の厚いご支援を賜りたいと思います。



◆◇激走！地区中体連駅伝大会◇◆

10月10日(木)の三養基・神埼地区中体連の駅伝大会が開催されました。吉野ヶ里歴史公園のコースを使って走り、男子女子ともに3位の成績を収めました。特に、男子の5区の原大毅君、女子のアンカーの藤村琴海さんが圧巻の走りを見せ、区間で1位の区間賞を頂くことができました。

11月8日(金)には福富マイランドコースで県大会が開かれます。男女とも三養基地区だけでは1位と2位ですので、三養基地区を代表して出場することができます。県レベルでの活躍を期待して、応援したいと思います。



◆◆県中学校社会科研究大会開かれる◆◆



10月11日(金)の5校時に佐賀県中学校教育研究会社会科部会の授業研究会(歴史分野)が本校で開催されました。県内各中学校から約30名の先生方が2年2組の社会科授業を参観されました。単元「開国と近代日本の歩み」の中で「北方領土問題が本当に解決したといえるのは、どのような状態になったときだろうか。」という課題に対して、生徒が歴史的背景や現在の状況など調べたことを発表し、さらに座談会形式のグループ討議を行いました。

生徒はやや緊張していましたが、参加者からはレベルの高い授業であると好評を博しました。

◆◆全校集会の話から◆◆

10月3日の全校集会では、校長の話として「Will・Can・Must と大谷翔平」を題材に、目標や進路に向けて努力するときの心構えについて話をしました。学校だよりの前号にも掲載しましたが、「夢や目標をもっている生徒」が79%であったことを受けての話でした。まずは「Will」であり、将来「～するだろう」という目標を持たないといけません。そして次に「Can」、自分が今「できる」こと、「できている」ことを分析してみる。さらに「Must」、もっと自分が「しなければならない」



ことは何かを考えようという内容でした。

例えば、将来海外で働くことを目標にしているとすれば、今できていることを考えてみる。人とのコミュニケーションはうまく取れているとするならば、さらに何が必要か。外国語の力がもっと必要だと分析すれば、その頑張りにも力が入るでしょう。そのように自己分析をして、目標実現に立ち向かってほしいと話しました。

もう一つ紹介したのは、大リーガー大谷翔平選手のやり方です。彼は高校1年生の時に、「プロ野球8球団からドラフト1位指名をされる」という目標を立てました。そして、それを実現するための8つの小さな目標を立てます。さらにその小さな目標のためになすべきことを、それぞれ8つ考えました。それらをつつひとつクリアしていく中で、自分を高め素晴らしい選手に成長したと思います。簡単に「大谷翔平選手のようになれ」とは言いませんが、目標に向かって自分を成長させる方法として、学ぶべきものは大いにあります。

(参考:フォレスト出版『一流の達成力』原田隆史・柴山健太郎)

大谷選手が高校1年生のときに書いたOW64



画像の表示を
ひかえています。
す。

◆◆表彰◆◆

三養基地区英語暗唱大会 3年の部 第1位 富安映月

三養基神埼地区中学校駅伝大会 男子 第3位 女子 第3位 区間賞 原大毅 藤村琴海

佐賀県中学生新人バレーボール大会三養基神埼地区大会 女子の部 第1位 バレーボール部

佐賀県中学生新人陸上競技大会 女子400m 第2位 木村結香(1分06秒31)

森旗争奪少年剣道大会 敢闘賞 剣道部

七夕書き方会三養基地区審査

硬筆の部 特選 三宮和依 大隈花音 櫻木優合 桧枝風花 角田菜緒

入選 末次朱莉 田中咲地 千々岩凧彩 宮原彩織 山上紗穂 中村好芭 今井花凜

岡本留実 芭蕉美里 江上朋花

毛筆の部 特選 古賀奏音 田中美咲 赤司莉菜 寺崎 琳

入選 高倉美里 寺崎天華 中島琴美 前山実穂 弓果乃夏 鷺崎優成 中田佳那

牟田さくら 野上小涼 藤村琴海 牟田悠愛 荒木美伎 木下菜桜 三宮菜和

北原彩里衣 山本恵利奈

◆◆今後の予定◆◆

1日(金)Q-U検査

5日(火)避難訓練

13日(水)全校集会

14日(木)生徒会長選挙

16日(土)～20日(水)部活動中止

19日(火)～21日(木)期末テスト

30日(土)みやき町教育の日・主張会